



GALLERY HEPTAGON  
HEPTAGON WORKS GALLERY and LIVING

Press Release 2024.8/1

# 鈴木健太郎個展「時の回廊」開催のご案内

Kentaro SUZUKI solo exhibition -the corridors of time-

このたび、ギャラリーヘプタゴンにて、鈴木健太郎個展「時の回廊」を開催いたします。

## 鈴木健太郎コメント

### 制作コンセプト：

千社札とは、貼る事で参籠と同じ功德があるという信仰から、参拝者が寺社に貼る札の事である。それらは信仰の上に成り立つものである一方、その存在自体が信仰を形作っているとも言える。記された名前や出身、参拝年数、札のデザイン、貼り方などは多種多様であり、札が無数に貼られた寺社の本堂などで、時空を超えた人々の存在が一か所に交錯する様は壮観だ。「全く違う地域、時代を生きた人々の繋がり」についてサイアノタイプを用いた独自の絵画技法で表現する。

### ステートメント：

1000年の都。京都市内で生まれ育った私にとっては聞き慣れた言葉だ。この言葉を聞いて平安時代からここに都があった事実を「理解」はできていたが「実感」はもてないでいた。しかし、今回、個展に際してこのギャラリーの周囲でフィールドワークを行い実際に平安京の内裏を囲む内郭回廊痕や各宮殿の痕を見て、巨大な宮都がここにあったという「理解」は「実感」へと変わったのである。

このような、「理解」が「実感」へと変わるきっかけは、意識がどこにあるかによって変わる。何気なく見ている日常の背景に過去は眠る。普段、無意識に感じている領域に意識を集中させる事でそれらは主体となって現れる。意識と意識の間に埋没している歴史の層を感じ取り、表現する試みである。

鈴木健太郎はサイアノタイプ技法にさらに描画等の層を重ね合わせる手法で奥行きのある作品を生みだしています。展覧会前に大極殿回廊跡や二条城、平安時代の内裏跡の南東の端にあるギャラリーの立地周辺を自ら歩き、さまざまな時代の人々の息づかいに思いを馳せました。同じ場所での人々の往来が各時代のレイヤーとなって重なり合うさまがどのように作品に現れますでしょうか。

どうぞご高覧くださいませ。

### 【展覧会詳細】

会期 | 2024年8月31日(土)～9月8日(日)

時間 | 12:00～18:00

休廊日 | 9月5日(木)

会場 | Gallery Heptagon (ギャラリー・ヘプタゴン)

〒602-8175 京都市上京区下立売智恵光院西入中村町 523

TEL : 080-7583-3388 info@heptagonworks.com www.heptagonworks.com





《街路樹の隙間 I》  
H910×W727 mm (2024)



《畦道の隙間》  
H180×W140mm (2024)

【プロフィール】 鈴木健太郎 Kentaro SUZUKI

1996年 京都市生まれ

2015年 京都市立銅駝美術工芸高等学校 美術工芸科 卒業

2018年 第2回新日春展（入選）（東京都美術館 / 東京・京都市美術館 別館 / 京都）

2019年 京都精華大学 芸術学部日本画コース 卒業

第5回石本正日本画大賞展（入選）（浜田市立石正美術館 / 島根）

第33回 京都芸術祭 美術部門 国際交流総合展（京都市美術館 別館 / 京都）

2020年 鈴木健太郎 個展 TRACE（maronie / 京都）

2021年 千客万来 - 人と魚、道と繋がり と（DELTA / 京都）

京都精華大学大学院芸術研究科博士前期課程 修了

鈴木健太郎 個展 FIGURE AND GROUND（maronie / 京都）

2022年 かたちづくりられたものの記憶（京都写真美術館ギャラリー・ジャパネスク / 京都）

繋がる思い（台湾食堂アートミーツイート / 大阪）

瀬戸内国際芸術祭 2022（高見島 / 香川）

2023年 Kyoto Art for Tomorrow 2023 一京都府新鋭選抜展一（京都文化博物館 / 京都）

鈴木健太郎 個展 BACKGROUND（maronie / 京都）

RESTART 展 第31回 E U・ジャパンフェスト支援プロジェクト（カウナス / リトアニア共和国）

2024年 鈴木健太郎 個展 INTERVAL（京都写真美術館ギャラリー・ジャパネスク / 京都）